

(別紙4(2))

事業所名: グループホームきづきの家

作成日: 平成 28年 4月 12日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・3	行事・イベント後以外の日常での付き合いが、取り組みを行ってきているがまだ、薄い。また、認知症の人への理解や支援方法など地域にむけての発信ができていない。	昨年取り組んできた、町内の方々や子供たちとの交流を今年につなげる。 きづきの家を、より多くの方々に知って頂き、立ち寄って頂けるような場所づくりをする。	・町内の散歩 ・町内会行事への参加 ・地域の子供たちとの交流 ・地域の方々を招き、勉強会	12ヶ月
2	48	洗濯物や調理などの家事は、行ってはいるがお一人、お一人が役割や楽しみをもち生活できていない。	余暇活動の充実や、お一人おひとりのできる事や楽しみを見つける。	・担当職員主導により、もう一度生活歴をみなおす。そして、したい事ややりたい事の聞き取りを行う。 ・ご家族とも協力しながら、入居者がいきいきと生活できるよう工夫する。	12ヶ月
3	38	入居者の生活スタイルを尊重したが、職員側の都合や一日の支援計画を優先してしまう場面も見られる。	毎日の生活を、入居者と相談しながらおこなう。	・一日の過ごし方を見直す。 ・職員のペースで動かない	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。